



新



教職員のための 外国人留学生受入れマニュアル



鳥取大学国際交流センター・国際交流課

はじめに

本冊子は、留学生受入れ検討から来日までに必要な基礎知識と手続き等についての概要をまとめたものです。また、受入予定教員の方々からよく質問のある、留学生のための奨学金や受入れに必要な具体的な業務についても紹介していますので、留学生受入れの際に、お役立ていただければと思います。

その他わからないことや、さらに必要な情報などについては、留学生サポートデスクや国際交流課学生交流係にお問い合わせください。

留学生サポートデスク：supportdesk@ciatu.tottori-u.ac.jp

国際交流課学生交流係：kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

もくじ

I. 留学生の種類	2
II. 留学生のための奨学金	3
III. 留学生受入れに必要な具体的業務	4
IV. 在留資格認定証明書について	6
V. 宿舎について	7
VI. 在留資格に係る入国管理局への申請取次について	9
VII. 関西空港から鳥取大学まで	11
VIII. 在留資格認定証明書交付申請書と研究計画書の記入例	13
IX. 各種様式（在留資格認定証明書交付申請書・国際交流会館入居申請書）	17

I. 留学生の種類

交換留学生

学生交流の覚書を締結している協定校から「特別聴講学生」または「特別研究学生」という身分で半年もしくは1年間受け入れる留学生です。留学生本人は検定料・入学料・授業料を本学に納める必要はありません。

国費留学生

日本国政府から毎月奨学金を受給する留学生です。検定料・入学料・授業料は日本国もしくは大学が負担しているため、留学生本人は支払う必要がありません。

■研究留学生

大学院レベルの学生です。ほとんどの場合が、学位取得を目指します。

■教員研修生

大学または教員養成学校を卒業し、自国の初等、中等教育機関の現職教員及び教員養成学校の教員として通算して5年以上の現職経験のある学生です。

来日後、半年間は日本語学習を主に行い、その後1年間は教育分野についての研究を行います。奨学金期間は1年半です。

■日本語・日本文化研修生

来日時点で外国の大学の日本語・日本文化に関する学部・学科に在学し、本学の研究生もしくは科目等履修生として1年間在籍し、日本語もしくは日本文化について勉強します。帰国後は元の大学に復学します。

マレーシア政府派遣留学生

マレーシア国内の高校を卒業後、日本の大学進学のための予備教育機関（マラヤ大学・帝京マレーシア日本語学院）で日本語及び大学進学に必要な基礎学力向上のために教育を受けた留学生です。マレーシア政府が、検定料・入学料・授業料を負担し、また留学生に対し毎月奨学金を支給しています。

日本国政府はマレーシア国内での予備教育や大学等への受入斡旋等の協力を行っています。

鳥取県費留学生

ブラジル鳥取県人会の推薦により鳥取県が1年間奨学金を支給する留学生で、本学での身分は研究生です。

私費留学生

上記以外の留学生を私費留学生と呼んでいます。

II. 留学生のための奨学金

来日前に申請ができるもの

■国費

○大使館推薦

在外日本大使館を通じて募集が行われます。概ね3月～5月にかけて募集が行われ、6月～8月にかけて第一次選考が行われます。第一次合格者は8月末までに入学を希望する大学に直接連絡し、9月末までに受入内諾書を取得しなければなりません。

なお、他の大学からも受入内諾書を得ている場合、本学に配属されないこともあります。

○大学推薦

大学間交流協定等に基づき、相手大学等から公式に推薦を受けた者を、本学が文部科学省に推薦します。大学推薦の国費外国人留学生の渡日時期は10月のみです。

例年、一般枠の推薦時期は1月頃、特別枠の推薦時期は3月頃です。

国費奨学金支給額（2015年6月現在）

日本語・日本文化研修留学生（学部レベル）	117,000円/月
教員研修留学生（大学院レベル）	143,000円/月
研究留学生（大学院レベル非正規生）	143,000円/月
研究留学生（大学院レベル修士課程）	144,000円/月
研究留学生（大学院レベル博士課程）	145,000円/月

■鳥取大学国際交流基金特別奨学金

新たに海外から本学の大学院に入学する留学生のうち、部局の長から推薦のあった者を、毎年1名奨学生として決定し、大学院生は月額50,000円、研究生等は月額30,000円を国際交流基金から支給します。

※授業料免除（半額免除含む）を許可された場合は、月額30,000円とします。

※推薦できる研究科は輪番となっており、平成28年度は工学研究科、平成29年度は医学系研究科となっています。

来日後に申請するもの

■国費

○国内採用

本学の大学院正規課程に在籍又は在籍予定で、推薦時に本学に在籍している私費留学生を本学が文部科学省に推薦します。推薦時期は例年11月頃です。

■私費外国人留学生のための奨学金(学習奨励費・ロータリー米山奨学金・国際交流基金等)

1年に2回、前期分は3月頃、後期分は9月頃に、奨学金の受給を希望する私費留学生から「奨学金等申込書」を受け付けます。この申込書を提出した留学生を、成績・学年・奨学金受給状況・国際交流活動状況等の基準により推薦順位を決定し、各奨学金団体から募集があった都度、推薦順位上位の者から順に、推薦します。

Ⅲ. 留学生受入れに必要な具体的業務

STEP 留学生区分	STEP 1 受入準備	STEP 2 受入許可	STEP 3 留学ビザ申請・交付	STEP 4 入国準備
協定校からの 受入留学生 特別聴講学生 特別研究学生 DDP 留学生	協定校からの申請を うけ、学部等入学の ための申請書類を準 備。	学部・研究科で受入 の審議。 受入決定後、学部・ 研究科で発行される 「受入許可書」を協 定校の担当者に送 付。	在留資格認定証明書 交付申請書類を国際 交流センターHP等 で取りよせ、準備。 広島入国管理局境港 出張所へ在留資格認 定証明書を代理申請 (国際交流課・セン ターで取次申請可)。 約4週間後に代理申 請者に届く在留資格 認定証明書を留学予 定者に送付。 (本人：在外日本大 使館に在留資格認定 証明書とその他必要 書類を持参のうえで ビザ申請し、留学ビ ザの交付を受ける。)	到着日時・空港の確 認。 国際交流会館の入居 申請書を国際交流課 に提出。
私費留学生 研究生等	受入予定教員で学生 の研究計画内容等を 精査・検討。 学科に問合せのあつ た場合は、学科で受 入教員を検討。 研究科等入学のため の申請書類を準備。		留学ビザをすでに所 持し日本国内にいる 場合：在留期間延長 申請が必要な場合 は、国際交流課に相 談。 日本国外にいる場 合：在留資格認定証 明書交付の代理申請 を行う。	到着日時を確認。 国際交流会館の入居 申請書を国際交流課 に提出。
国費大使館推薦 研究留学生 教員研修生 日本語・日本文 化研修生	研究留学生：8月末 までに本人から依頼 のある受入内諾書発 行に対して研究科で 検討。	研究留学生：研究科 にて受入について審 議し、研究科で発行 される受入内諾書を 9月末まで留学生に	在留資格認定証明書 交付申請の代理申請 は不要。	国際交流会館の入居 申請書を国際交流課 に提出。

	教員研修生：文部科学省からの受入検討依頼に対して地域学研究科で検討。 日本語・日本文化研修生：文部科学省から受入検討依頼に対して地域学部が検討。	送付。その後、正式な受入依頼が文部科学省からある。 教員研修生、日本語・日本文化研修生：地域学部・地域学研究科にて受入について審議。 国際交流課に受入の可否について回答。		
国費大学推薦 研究留学生 (一般枠) 日本語・日本文化研修生	文部科学省募集要項に基づき、受入予定教員から推薦のあった留学生を研究科で推薦順位を付けて国際交流課に推薦。 各研究科から推薦のあったものを国際交流専門委員会で審議、推薦順位を決定。	6月頃、文部科学省から採否通知あり。 国際交流課にて、受入通知書を発行。	受入通知書を留学生に送付。留学生は、指定された期間に、受入通知書を国籍のある在外日本大使館に持参し、留学ビザ取得手続きを行う。 文部科学省が旅費負担する場合は、旅行会社の指示により、来日希望日等をリクエストする。	到着日時を確認。 国際交流会館の入居申請書を国際交流課に提出。
マレーシア政府派遣留学生	文部科学省からの受入検討依頼に対して学部が検討。	学部にて受入について審議し、受入可否について国際交流課に回答。	在留資格認定証明書交付申請の代理申請は不要。	国際交流会館の入居申請書を国際交流課に提出。
県費留学生	鳥取県からの受入内諾検討依頼に対して、学部・研究科が検討。	学部・研究科にて受入を審議し、国際交流課に受入可否について回答。	在留資格認定証明書交付申請の代理申請は不要。	国際交流会館の入居申請書を国際交流課に提出。

※学部・研究科入学のための申請書類は、各学部・研究科により異なるため、受入予定学部等の教務担当係にお問い合わせください。

※外国での卒業・修了等の学歴証明については各学部教務係で対応可能な場合がありますので、ご確認ください。受入・指導教員につきましても学歴等は確認の上、手続きを進められるようご注意ください。

IV. 在留資格認定証明書について

本学の留学生として受け入れる場合は、「留学」ビザを取得させる必要があります。在外公館での「留学」ビザ申請には、事前に取得した「在留資格認定証明書」を提示する必要があります。「在留資格認定証明書」は入国管理局に申請してから取得までに約1ヶ月かかりますので、留学生の受入が決定しましたら、十分な時間的余裕（概ね4ヶ月程度）をもって準備をしてください。

「在留資格認定証明書」交付申請に必要な書類は以下のとおりです。

1) 在留資格認定証明書交付申請書（A4サイズ・片面印刷）

国際交流課で入手可能。国際交流センターHPや入国管理局HPからもダウンロード可能。HPからダウンロードした場合、規格外（縮小印刷されたもの）は不可。

<国際交流センターHP>

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/necessary-documents-Immigration3>

2) 申請者の写真

縦4cm×横3cmで、3ヶ月以内に撮影したものを1枚。学生証・身分証明書用にも1枚は必要なので事前に数枚準備しておくのがよい。

3) 申請者のパスポートの写し

未発給の場合、身分事項が確認できる書類（身分証明書の写し、戸籍抄本〔謄本〕、中国の場合公証書でも可）

4) 入学許可書の写し

入学手続きは済んでおらず、入学許可書の発行がまだの場合は、合格通知書（原本）を提出

5) 研究内容等を証明する書類（研究生・聴講生の場合）

研究期間、科目及び時間数、研究内容等の記載されたもの

研究生・・・指導教員作成の研究計画書

聴講生・・・聴講科目及び時間数が記載された履修届写し等の文書

6) 在留中の一切の経費の支弁能力を証する文書

☆留学生本人が学費・生活費を支弁する場合（次のうちいずれか一つ）

①本人名義の銀行等における預金残高証明書

②奨学金の支給証明書

☆申請人である留学生以外の者が学費・生活費を支弁する場合

①経費支弁者の預金残高証明書

※受入予定学生の日本留学中の支弁能力については、必ず事前に確認しておいてください。

7) 392円分の切手を貼付した返信用封筒（長形3号）

受取人名・宛名（日本国内）を記入。国際交流課に申請取次を依頼する場合は、返信用封筒は不要。

※日本語・英語以外の言語による文書は、日本語又は英語による訳文の提出が必要です。



申請書の記入例は、P13~P15で確認してね！

V. 宿舎について

鳥取大学国際交流会館

鳥取大学の留学生と研究者は、国際交流会館に入居することができます。

入居できる期間は原則として、留学生は1ヶ月以上1年以内、研究者は14日以上1年以内で、入居許可書に明示された期間内とします。

入居に伴って必要となる経費は、使用料及び諸経費です。経費の額は物価の変動や法令改正により改定することがあります。詳細については、国際交流課にお問い合わせください。

※外国人研究員（鳥取大学での雇用関係にある者）は、国際交流会館に入居することはできません。職員宿舎を管轄している経理課資産係にご相談ください。

■住所・電話番号

〒680-0947 鳥取市湖山町西4丁目110
TEL 0857-28-4808（国際交流会館事務室）
月～金 9：00～19：30



■使用料及び諸経費等

区分	居室数	使用料	共益費	清掃費	保証金
1人部屋A	40	5,000円/月	2,000円/月	9,800円	10,000円
1人部屋B	10	6,000円/月	2,000円/月	10,300円	10,000円
2人部屋	6	12,000円/月	2,000円/月	18,600円	20,000円
3人部屋	3	15,000円/月	2,000円/月	27,800円	30,000円

(2015年6月現在)

※使用料に、光熱水料は含まれません。別途支払いが必要です。

※共益費には、インターネット使用料が含まれます。

■各居室の主な備品

	ベッド	机 書棚	ロッカー	ポット	エアコン	冷蔵庫	ガス コンロ	トースター	電子 レンジ	炊飯器	TV	掃除機	洗濯機
1人部屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓							
2人部屋	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3人部屋	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※ベッドには、マットレスが備え付けられていますが、布団・シーツ・枕等寝具は入居者に準備していただくこととしています。入居当日から必要となりますので、事前にインターネットで購入や、リース等をご利用ください。

■单身棟共用物品

洗面所／洗濯機／乾燥機／台所／ガスコンロ／電子レンジ／オーブントースター／食器棚／
ダストボックス／テレビ／掃除機／電話／消火器

白浜（二） 宿舎

職員用の宿舎である白浜（二）宿舎の一部を留学生用の宿舎として利用しています。入居できる期間は国際交流会館と同様の1ヶ月以上1年以内です。原則として2名1室の入居となります。主に、在籍予定期間が同じ、交換留学生を入居させています。

■使用料及び諸経費

使用料	共益費	清掃費	保証金
2,679 円/月	2,700 円/月	9,300 円	10,000 円

(平成 27 年 10 月 予定)

※上記金額は、入居者 1 人分のものであります。

※共益費には、インターネット費用が含まれます。

■居室の主な備品

ベッド/机/椅子/電気スタンド/冷蔵庫/洗濯機/ガスコンロ/照明器具/電気ストーブ/扇風機

民間アパート等

留学生住宅総合補償制度への加入を条件に、大学が機関として連帯保証することができます。

国際交流会館の入居申請書様式は

P21 に掲載しています。

入居申請書は、指導予定教員の代筆で OK !



VI. 在留資格に係る入国管理局への申請取次について

国際交流センター・国際交流課では、広島入国管理局境港出張所への在留資格に係る申請取次を行っています。取次申請を希望する場合は、国際交流センターHP（留学生の方へ「お知らせ」）で書類提出期間（毎月中旬頃の2日間）をご確認ください。

なお、申請書類に不備がある場合は、取次ができない場合があります。また、申請取次であっても、入国管理局から直接本人への聴取、入国管理局境港出張所への本人出頭を求められる事があります。

＜国際交流センターHP 留学生の方へ「お知らせ」＞

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/students-news>

■対象者

留学生（及び本人と同時に入国する場合のみ、その配偶者と子）としますが、大学で公式に受入れを行う外国人研究者についても同様の業務が可能ですので、以下の担当係にお問い合わせください。

外国人留学生： 研究・国際協力部 学生交流係 0857-31-5056

外国人研究者： 研究・国際協力部 国際交流係 0857-31-5010

■申請取次事項

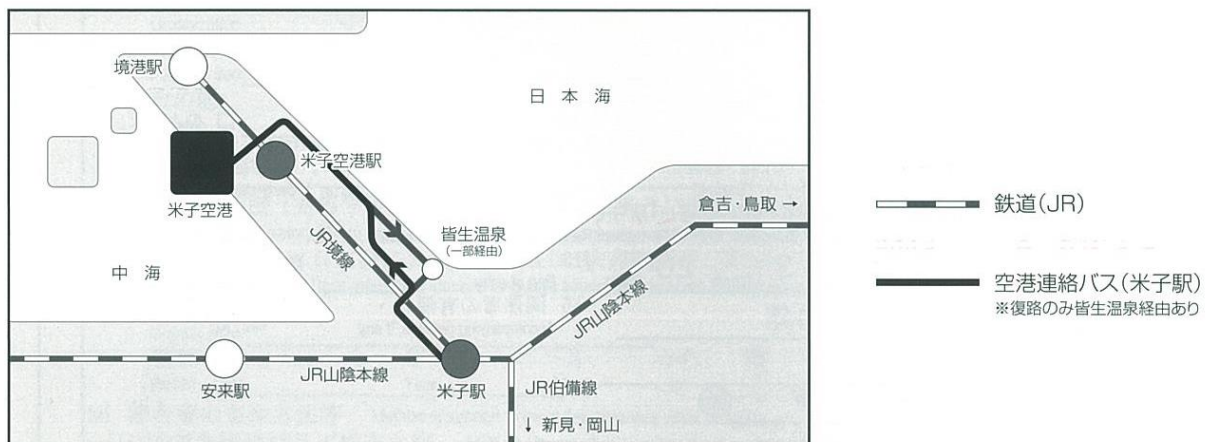
- 在留資格認定証明書交付申請
- 在留期間更新許可申請
- 資格外活動許可申請

※在留期間更新許可申請や資格外活動許可申請は、申請取次者証明書を所持する者でないと、入国管理局への取次はできませんが、在留資格認定証明書交付申請は、受入予定教員や受入学部・研究科の職員でも入国管理局への申請取次は可能です。

■広島入国管理局境港出張所について

〒684-0055 鳥取県境港市佐斐神町 1634 番地 米子空港ビル 3 階

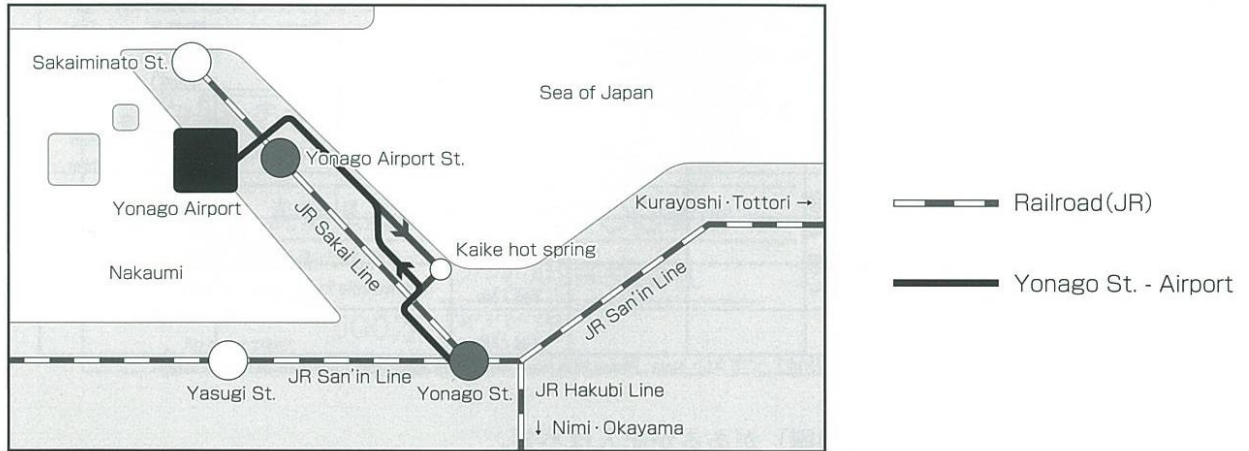
TEL 0859-47-3600 FAX 0859-47-3601



Hiroshima Regional Immigration Bureau Sakaiminato Branch Office

3F Yonago Airport Building. 1634 Sainokami-cho Sakaiminato-city Tottori 684-0055

TEL 0859-47-3600 FAX 0859-47-3601



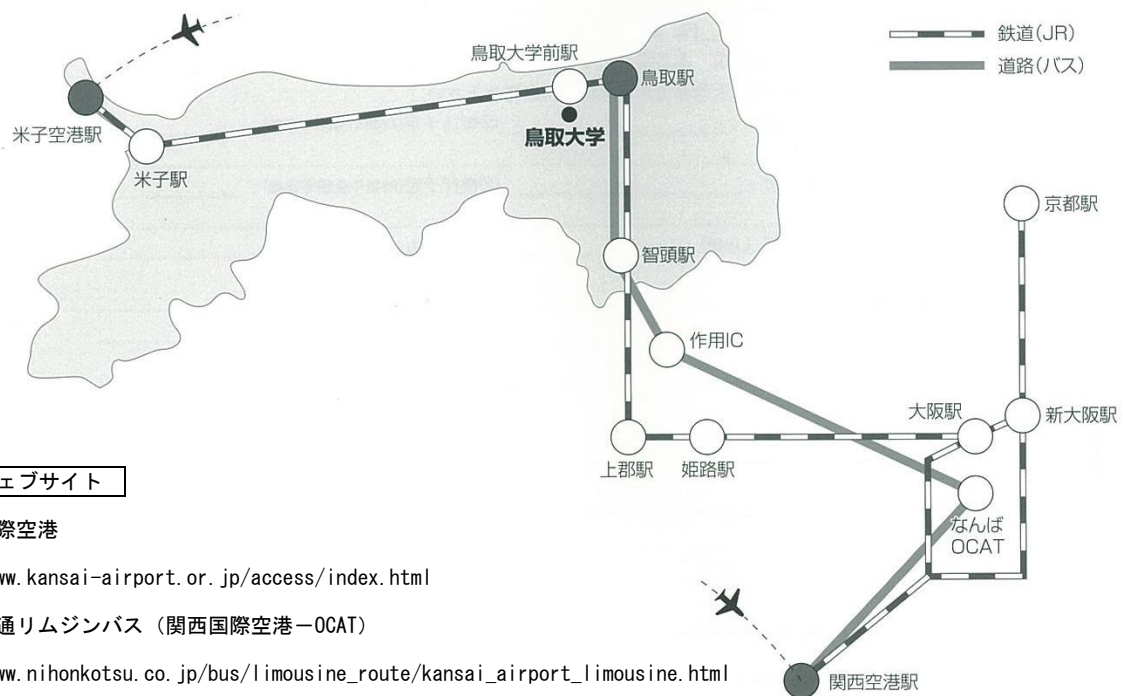
VII. 関西国際空港から鳥取大学まで

■関西国際空港から鳥取までの主なルート

1. 【関西国際空港】 → 【なんば OCAT バスターミナル (2 階)】
リムジンバス - 1,050 円 / 所要時間: 約 48 分
2. 【なんば OCAT バスターミナル (2 階)】 → 【鳥取バスターミナル】
高速バス - 3,700 円 / 所要時間: 約 3 時間
3. 【JR 鳥取駅】 → 【JR 鳥取大学前駅】
列車 (JR) - 190 円 / 所要時間: 約 5 分

■米子空港から鳥取大学までの主なルート

1. 【JR 米子空港駅】 → 【JR 米子駅】
列車 (JR) - 240 円 / 所要時間: 約 40 分
 2. 【JR 米子駅】 → 【JR 鳥取大学前駅】
列車 (JR) - 1,490 円 / 所要時間: 約 2 時間
- ※米子空港-鳥取駅間はバスもあります。



参考ウェブサイト

●関西国際空港

<http://www.kansai-airport.or.jp/access/index.html>

●日本交通リムジンバス (関西国際空港-OCAT)

http://www.nihonkotsu.co.jp/bus/limousine_route/kansai_airport_limousine.html

●日本交通高速バス (OCAT-鳥取)

<http://www.nihonkotsu.co.jp/bus/highway/course/tottori-kobe-osaka.html>

Kansai International Airport → Tottori University

■ The route from Kansai International Airport to Tottori University

1. **【Kansai International Airport】 → 【OCAT, Bus Terminal in Namba, Osaka】**

Limousine - ¥1,050 / around 48 min

2. **【OCAT, Bus Terminal in Namba, Osaka】 → 【Tottori Bus Terminal】**

Highway Bus - ¥3,700 / around 3 hours

3. **【JR Tottori station】 → 【JR Tottori daigaku mae station】**

Train(JR) - ¥190 / around 5 min

■ The route from Yonago Airport to Tottori University

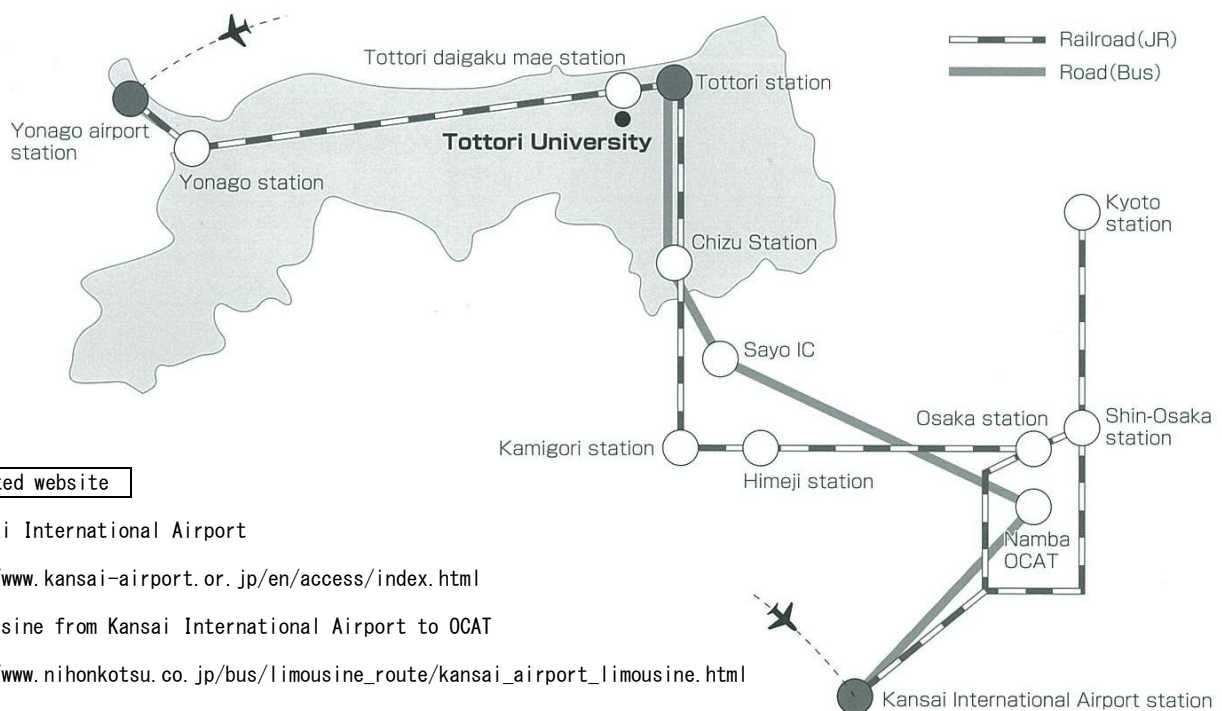
1. **【JR Yonago airport station】 → 【JR Yonago station】**

Train(JR) - ¥240 / around 40 min

2. **【JR Yonago station】 【JR Tottori daigaku mae station】**

Train(JR) - ¥1,490 / around 2 hours

※There is also bus service between Yonago Airport and Tottori Station.



Related website

- Kansai International Airport

<http://www.kansai-airport.or.jp/en/access/index.html>

- Limousine from Kansai International Airport to OCAT

http://www.nihonkotsu.co.jp/bus/limousine_route/kansai_airport_limousine.html

- Highway Bus from OCAT to Tottori station

<http://www.nihonkotsu.co.jp/bus/highway/course/tottori-kobe-osaka.html>

VIII. 在留資格認定証明書交付申請書の記入例

別記第六号の三様式(第六条の二関係)
 申請人等作成用 1
 For applicant, part 1

日本国政府法務省
 Ministry of Justice, Government of Japan

在留資格認定証明書交付申請書
 APPLICATION FOR CERTIFICATE OF ELIGIBILITY

To the Director General of 広島 入国管理局長 殿
 Regional Immigration Bureau

出入国管理及び難民認定法第7条の2の規定に基づき、次のとおり同法第7条第1項第2号に掲げる条件に適合している旨の証明書の交付を申請します。
 Pursuant to the provisions of Article 7-2 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, I hereby apply for the certificate showing eligibility for the conditions provided for in 7, Paragraph 1, Item 2 of the said Act.

写 真
Photo
40mm × 30mm

1 国籍・地域 中国 2 生年月日 1988 年 4 月 1 日
 Nationality/Region Family name Given name Date of birth Year Month Day

3 氏名 Wang XiuYing
 Name

4 性別 男 / 女 5 出生地 中国 北京市 6 配偶者の有無 有 / 無
 Sex Male / Female Place of birth Marital status Married / Single

7 職業 学生 8 本国における居住地 中国北京市〇〇区〇〇町 (詳しい住所を記載)
 Occupation Home town/city

9 日本における連絡先 鳥取県鳥取市湖山町南4-〇〇〇番地
 Address in Japan

電話番号 0857-31-〇〇〇〇 携帯電話番号 (ない場合は「なし」と記入)
 Telephone No. Cellular phone No.

10 旅券 (1)番号 A12345 (又は申請中) (2)有効期限 2017 年 10 月 15 日
 Passport Number Date of expiration Year Month Day

11 入国目的 (次のいずれか該当するものを選んでください。)
 Purpose of entry: check one of the followings
 I「教授」 I「教育」 J「芸術」 J「文化活動」 K「宗教」 L「報道」
 "Professor" "Instructor" "Artist" "Cultural Activities" "Religious Activities" "Journalist"
 L「企業内転勤」 M「経営・管理」 L「研究(転勤)」
 "Intra-company Transferee" "Business Manager" "Researcher (Transferee)"
 N「研究」 N「技術・人文知識・国際業務」 N「技能」
 "Researcher" "Engineer / Specialist in Humanities / International Services" "Skilled Labor"
 N「特定活動(研究活動等)」 O「興行」 P「留学」 Q「研修」 Y「技能実習(1号)」
 "Designated Activities (Researcher or IT engineer of a designated org)" "Entertainer" "Student" "Trainee" "Technical Intern Training (1)"
 R「家族滞在」 R「特定活動(研究活動等家族)」 R「特定活動(EPA家族)」
 "Dependent" "Designated Activities (Dependent of Researcher or IT engineer of a designated org)" "Designated Activities(Dependent of EPA)"
 T「日本人の配偶者等」 T「永住者の配偶者等」 T「定住者」
 "Spouse or Child of Japanese National" "Spouse or Child of Permanent Resident" "Long Term Resident"
 「高度専門職(1号イ)」 「高度専門職(1号ロ)」 「高度専門職(1号ハ)」 U「その他」
 "Highly Skilled Professional(i)(a)" "Highly Skilled Professional(i)(b)" "Highly Skilled Professional(i)(c)" "Others"

12 入国予定年月日 2016 年 3 月 31 日 13 上陸予定港 関西空港
 Date of entry Year Month Day Port of entry

14 滞在予定期間 4 年 15 同伴者の有無 有 / 無
 Intended length of stay Accompanying persons, if any Yes / No

16 査証申請予定地 北京
 Intended place to apply for visa

17 過去の出入国歴 有 / 無
 Past entry into / departure from Japan Yes / No
 (上記で「有」を選択した場合) (Fill in the followings when the answer is "Yes")
 回数 回 直近の出入国歴 年 月 日 から 年 月 日
 time(s) The latest entry from Year Month Day to Year Month Day

18 犯罪を理由とする処分を受けたことの有無(日本国外におけるものを含む。)
 Criminal record (in Japan / overseas)) 有 / 無
 Yes (Detail:) / No

19 退去強制又は出国命令による出国の有無 有 / 無
 Departure by deportation / departure order Yes / No
 (上記で「有」を選択した場合) 回数 回 直近の送還歴 年 月 日
 (Fill in the followings when the answer is "Yes") time(s) The latest departure by deportation Year Month Day

20 在日親族(父・母・配偶者・子・兄弟姉妹など)及び同居者
 Family in Japan (Father, Mother, Spouse, Son, Daughter, Brother, Sister or others) and co-residents

続柄 Relationship	氏名 Name	生年月日 Date of birth	国籍・地域 Nationality/Region	同居予定 Intended to reside with applicant or not	勤務先・通学先 Place of employment/school	在留カード番号 特別永住者証明書番号 Residence card number Special Permanent Resident Certificate number
	(ない場合は「なし」と記入)			はい/いいえ Yes / No		
				はい/いいえ Yes / No		
				はい/いいえ Yes / No		
				はい/いいえ Yes / No		

※ 20については、記載欄が不足する場合は別紙に記入して添付すること。なお、「研修」、「技能実習」に係る申請の場合は記載不要です。
 Regarding item 20, if there is not enough space in the given columns to write in all of your family in Japan, fill in and attach a separate sheet.
 In addition, take note that you are not required to fill in item 20 for applications pertaining to "Trainee" / "Technical Intern Training".

(注) 裏面参照の上、申請に必要な書類を作成して下さい。 Note: Please fill in forms required for application. (See notes on reverse side.)

21 通学先 Place of study
 (1) 名称 Name of school 鳥取大学
 (2) 所在地 Address 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 (3) 電話番号 Telephone No. 0857-31-0000

22 修学年数 (小学校～最終学歴) Total period of education (from elementary school to last institution of education) 16 年 Years

23 最終学歴 (又は在学中の学校) Education (last school or institution) or present school
 (1) 在籍状況 Registered enrollment 大学院 (博士) Doctor 大学院 (修士) Master 卒業 Graduated 在学中 In school 休学中 Temporary absence 中退 Withdrawal 大学 Bachelor 短期大学 Junior college 専門学校 College of technology 高等学校 Senior high school 中学校 Junior high school 小学校 Elementary school その他 () Others
 (2) 学校名 Name of the school 〇〇大学 (3) 卒業又は卒業見込み年月 Date of graduation or expected graduation 2014 年 7 月

24 日本語能力 (専修学校又は各種学校において日本語教育以外の教育を受ける場合に記入)
 Japanese language ability (Fill in the followings when the applicant plans to study at advanced vocational school or vocational school (except Japanese language))
 試験による証明 Proof based on a Japanese language test
 (1) 試験名 Name of the test _____ (2) 級又は点数 Attained level or score _____
 日本語教育を受けた教育機関及び期間 Organization and period to have received Japanese language education
 機関名 Organization _____
 期間: _____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで
 Period from _____ Year _____ Month to _____ Year _____ Month
 その他 Others _____

25 日本語学習歴 (高等学校において教育を受ける場合に記入)
 Japanese education history (Fill in the followings when the applicant plans to study in high school)
 日本語の教育又は日本語による教育を受けた教育機関及び期間
 Organization and period to have received Japanese language education / received education by Japanese language
 機関名 Organization _____
 期間: _____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで
 Period from _____ Year _____ Month to _____ Year _____ Month

26 滞在費の支弁方法等 Method of support to pay for expenses while in Japan
 (1) 支弁方法及び月平均支弁額 Method of support and an amount of support per month (average)
 本人負担 (本人の預金通帳等で証明 円) Self (with proof of personal account) Yen _____ 在外経費支弁者負担 (ある場合) 〇〇万 円 Supporter living abroad (if any) Yen _____
 在日経費支弁者負担 円 Supporter in Japan Yen _____ 奨学金 Scholarship Yen _____
 その他 円 Others Yen _____
 (2) 送金・携行等の別 Remittances from abroad or carrying cash
 外国からの携行 (ある場合) 〇〇万 円 Carrying from abroad Yen _____ 外国からの送金 Remittances from abroad Yen _____
 (携行者) 本人 携行時期 H26年3月) その他 円
 Name of the individual carrying cash _____ Date and time of carrying cash _____ Others Yen _____
 (3) 経費支弁者 Supporter
 ① 氏名 Name 王 志勇
 ② 住所 Address 北京市〇〇区〇〇町 (詳しい住所を記入) 電話番号 Telephone No. 〇〇〇〇〇〇〇〇
 ③ 職業 (勤務先の名称) Occupation (place of employment) 〇〇株式会社 電話番号 Telephone No. 〇〇〇〇〇〇〇〇
 ④ 年収 Annual income 500万 円 Yen

(4) 申請人との関係 (上記(1)で在外経費支弁者負担又は在日経費支弁者負担を選択した場合に記入)

Relationship with the applicant (Check one of the followings when your answer to the question 26(1) is supporter living abroad or Japan)

- 夫 Husband 妻 Wife 父 Father 母 Mother 祖父 Grandfather 祖母 Grandmother 養父 Foster father 養母 Foster mother
 兄弟姉妹 Brother / Sister 叔父(伯父)・叔母(伯母) Uncle / Aunt 受入教育機関 Educational institution 友人・知人 Friend / Acquaintance
 友人・知人の親族 Relative of friend / acquaintance 取引関係者・現地企業等職員 Business connection / Personnel of local enterprise
 取引関係者・現地企業等職員の親族 Relative of business connection / personnel of local enterprise その他 () Others

(5) 奨学金支給機関 (上記(1)で奨学金を選択した場合に記入)

Organization which provide scholarship (Check one of the following when the answer to the question 26(1) is scholarship)

- 外国政府 Foreign government 日本国政府 Japanese government 地方公共団体 Local government
 公益社団法人又は公益財団法人 () Public interest incorporated association / Public interest incorporated foundation その他 () Others

27 卒業後の予定 Plans after graduation

- 帰国 Return to home country 日本での進学 Enter school of higher education in Japan
 日本での就職 Find work in Japan その他 () Others

28 本邦における申請人の監護人(通学先が中学校又は小学校の場合に記入)

Actual guardian in Japan (Fill in the following if the applicant is to study at a junior high school or elementary school)

- (1)氏名 Name _____ (2)本人との関係 Relationship with the applicant _____
 (3)住所 Address _____
 電話番号 Telephone No. _____ 携帯電話番号 Cellular Phone No. _____

29 申請人, 法定代理人, 法第7条の2第2項に規定する代理人

Applicant, legal representative or the authorized representative, prescribed in Paragraph 2 of Article 7-2.

- (1)氏名 Name 鳥取 太郎 (2)本人との関係 Relationship with the applicant 指導教員
 (3)住所 Address 鳥取市〇〇町〇〇〇番地
 電話番号 Telephone No. 0857-〇〇-〇〇〇〇 携帯電話番号 Cellular Phone No. 090-1234-〇〇〇〇

以上の記載内容は事実と相違ありません。

申請人(代理人)の署名/申請書作成年月日

鳥取 太郎

I hereby declare that the statement given above is true and correct.

Signature of the applicant (representative) / Date of filling in this form

2016 年 3 月 7 日
Year Month Day

注意 申請書作成後申請までに記載内容に変更が生じた場合, 申請人(代理人)が変更箇所を訂正し, 署名すること。
Attention In cases where descriptions have changed after filling in this application form up until submission of this application, the applicant (representative) must correct the part concerned and sign their name.

※ 取次者 Agent or other authorized person

- (1)氏名 Name _____ (2)住所 Address _____
 (3)所属機関等 Organization to which the agent belongs _____ 電話番号 Telephone No. _____

申請人(留学生)
直筆署名の場合、
29 は記入不要

研 究 計 画 書

指導教員

研究生

△△学部 ○ ○ ○ ○ 印

× × × ×

研究題目

.....研究

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

以上の研究指導に、週10時間程度の指導時間を当てる。

IX. 各種様式

■在留資格認定証明書交付申請書(A4 サイズ・片面印刷)

■国際交流会館入居申請書

在留資格認定証明書交付申請書
APPLICATION FOR CERTIFICATE OF ELIGIBILITY

To the Director General of
Regional Immigration Bureau

写真

Photo

40mm x 30mm

出入国管理及び難民認定法第7条の2の規定に基づき、次のとおり同法第7条第1項第2号に掲げる条件に適合している旨の証明書の交付を申請します。
Pursuant to the provisions of Article 7-2 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, I hereby apply for the certificate showing eligibility for the conditions provided for in 7, Paragraph 1, Item 2 of the said Act.

1 国籍・地域 Nationality/Region
2 生年月日 Date of birth
3 氏名 Name
4 性別 Sex
5 出生地 Place of birth
6 配偶者の有無 Marital status
7 職業 Occupation
8 本国における居住地 Home town/city
9 日本における連絡先 Address in Japan
10 旅券 Passport
11 入国目的 Purpose of entry
12 入国予定年月日 Date of entry
13 上陸予定港 Port of entry
14 滞在予定期間 Intended length of stay
15 同伴者の有無 Accompanying persons
16 査証申請予定地 Intended place to apply for visa
17 過去の出入国歴 Past entry into / departure from Japan
18 犯罪を理由とする処分を受けたことの有無 Criminal record
19 退去強制又は出国命令による出国の有無 Departure by deportation/departure order
20 在日親族及び同居者 Family in Japan or co-residents

Table with 7 columns: 続柄 (Relationship), 氏名 (Name), 生年月日 (Date of birth), 国籍・地域 (Nationality/Region), 同居予定 (Intended to reside with applicant or not), 勤務先・通学先 (Place of employment/school), 在留カード番号 (Residence card number). Includes a 'はい・いいえ' (Yes/No) column.

※ 20については、記載欄が不足する場合は別紙に記入して添付すること。
Regarding item 20, if there is not enough space in the given columns to write in all of your family in Japan, fill in and attach a separate sheet.

21 通学先 Place of study
 (1) 名称 Name of school _____
 (2) 所在地 Address _____ (3) 電話番号 Telephone No. _____

22 修学年数 (小学校～最終学歴) Total period of education (from elementary school to last institution of education) _____ 年 Years

23 最終学歴 (又は在学中の学校) Education (last school or institution) or present school
 (1) 在籍状況 卒業 在学中 休学中 中退
 Registered enrollment Graduated In school Temporary absence Withdrawal
 大学院 (博士) 大学院 (修士) 大学 短期大学 専門学校
 Doctor Master Bachelor Junior college College of technology
 高等学校 中学校 小学校 その他 ()
 Senior high school Junior high school Elementary school Others
 (2) 学校名 Name of the school _____ (3) 卒業又は卒業見込み年月 Date of graduation or expected graduation _____ 年 Year _____ 月 Month

24 日本語能力 (専修学校又は各種学校において日本語教育以外の教育を受ける場合に記入)
 Japanese language ability (Fill in the followings when the applicant plans to study at advanced vocational school or vocational school (except Japanese language))
 試験による証明 Proof based on a Japanese language test
 (1) 試験名 Name of the test _____ (2) 級又は点数 Attained level or score _____

日本語教育を受けた教育機関及び期間 Organization and period to have received Japanese language education
 機関名 Organization _____
 期間: _____ 年 Year _____ 月 Month から _____ 年 Year _____ 月 Month まで to

その他 Others _____

25 日本語学習歴 (高等学校において教育を受ける場合に記入)
 Japanese education history (Fill in the followings when the applicant plans to study in high school)
 日本語の教育又は日本語による教育を受けた教育機関及び期間
 Organization and period to have received Japanese language education / received education by Japanese language
 機関名 Organization _____
 期間: _____ 年 Year _____ 月 Month から _____ 年 Year _____ 月 Month まで to

26 滞在費の支弁方法等 Method of support to pay for expenses while in Japan
 (1) 支弁方法及び月平均支弁額 Method of support and an amount of support per month (average)
 本人負担 Self _____ 円 Yen 在外経費支弁者負担 Supporter living abroad _____ 円 Yen
 在日経費支弁者負担 Supporter in Japan _____ 円 Yen 奨学金 Scholarship _____ 円 Yen
 その他 Others _____ 円 Yen
 (2) 送金・携行等の別 Remittances from abroad or carrying cash
 外国からの携行 Carrying from abroad _____ 円 Yen 外国からの送金 Remittances from abroad _____ 円 Yen
 (携行者 Name of the individual carrying cash _____ 携行時期 Date and time of carrying cash _____) その他 Others _____ 円 Yen
 (3) 経費支弁者 Supporter
 ① 氏名 Name _____
 ② 住所 Address _____ 電話番号 Telephone No. _____
 ③ 職業 (勤務先の名称) Occupation (place of employment) _____ 電話番号 Telephone No. _____
 ④ 年収 Annual income _____ 円 Yen

(4)申請人との関係 (上記(1)で在外経費支弁者負担又は在日経費支弁者負担を選択した場合に記入)

Relationship with the applicant (Check one of the followings when your answer to the question 26(1) is supporter living abroad or Japan)

- 夫 妻 父 母 祖父 祖母 養父 養母
兄弟姉妹 叔父(伯父)・叔母(伯母) 受入教育機関 友人・知人
友人・知人の親族 取引関係者・現地企業等職員
取引関係者・現地企業等職員の親族 その他

(5)奨学金支給機関 (上記(1)で奨学金を選択した場合に記入)

Organization which provide scholarship (Check one of the following when the answer to the question 26(1) is scholarship)

- 外国政府 日本国政府 地方公共団体
公益社団法人又は公益財団法人 その他

27 卒業後の予定 Plans after graduation

- 帰国 日本での進学
日本での就職 その他

28 本邦における申請人の監護人(通学先が中学校又は小学校の場合に記入)

Actual guardian in Japan (Fill in the following if the applicant is to study at a junior high school or elementary school)

(1)氏名 (2)本人との関係
(3)住所
電話番号 携帯電話番号

29 申請人, 法定代理人, 法第7条の2第2項に規定する代理人

Applicant, legal representative or the authorized representative, prescribed in Paragraph 2 of Article 7-2.

(1)氏名 (2)本人との関係
(3)住所
電話番号 携帯電話番号

以上の記載内容は事実と相違ありません。
申請人(代理人)の署名/申請書作成年月日

I hereby declare that the statement given above is true and correct.
Signature of the applicant (representative) / Date of filling in this form
年 月 日
Year Month Day

注意 申請書作成後申請までに記載内容に変更が生じた場合, 申請人(代理人)が変更箇所を訂正し, 署名すること。
Attention In cases where descriptions have changed after filling in this application form up until submission of this application, the applicant (representative) must correct the part concerned and sign their name.

※ 取次者 Agent or other authorized person

(1)氏名 (2)住所
(3)所属機関等 電話番号

(別紙様式1)

入 居 申 請 書

年 月 日

鳥取大学国際交流会館長 殿

所属学部等 大学院生 研究生
_____ 学部学生 聴講生
研究者

氏 名 _____
生年月日 _____年 _____月 _____日生 男 女
国 籍 _____
本国の所属大学等 _____
指導教員又は受入教員名 _____
連絡先 (TEL) _____

下記のとおり、鳥取大学国際交流会館に入居したいので申請します。

記

1. 入居希望区分 1人部屋 2人部屋 3人部屋
2. 入居希望期間 _____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日
3. 同居家族

フリ 氏	カナ 名	生 年 月 日	性 別	続 柄

(家族の入居日 _____年 _____月 _____日 ※証明する書類要添付。)

4. 代理申請者 部局名 _____
職 名 _____ 氏 名 _____
連絡先 (TEL) _____

申請人 (又は代理申請者) の署名 (又は印) _____



発行年月
平成 27 年 6 月

発行者
鳥取大学国際交流センター・国際交流課
〒680-8550 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地
TEL 0857-31-5056 FAX 0857-31-6065
Email supportdesk@ciatu.tottori-u.ac.jp